

プログラム 1 日目 令和 8 年 1 月 22 日 (木)

特別講演

10:30~11:30

第 1 会場 (4 階 メインホール)

「REVIVAL-リバイバル-」 ~救急隊のこれまでの歩み~

司 会 丸山 修 熊本市消防局

SPL 「REVIVAL -リバイバル-」 ~救急隊のこれまでの歩みとこれから~

P.53

熊本大学病院 入江 弘基

一般発表 1

11:45~13:25

第 1 会場 (4 階 メインホール)

「優秀演題発表」 ~優秀演題に学ぶ~

座 長 越智 美穂 横浜市消防局
司 会 甲斐 千裕 熊本市消防局
助言者 佐々木淳一 慶應義塾大学
橋本 光司 熊本市消防局

- O1-1** 病院前救護における小児けいれん重積の現状分析と救急救命処置拡大の可能性 P.54
新潟市消防局 佐藤 和寿
- O1-2** 「熱中症疑いで接触した蜂窩織炎見落としの一例」 P.54
土浦市消防本部 佐藤加奈子
- O1-3** 官学連携で解明する浜松市における救急件数へ影響を与える因子と将来予測について P.55
浜松市消防局 伸山 智士
- O1-4** 教育機関と連携した学校救急シミュレーション訓練の取り組みについて P.55
伊丹市消防局 橋口 将大
- O1-5** 産学官による地域連携型予防救急啓発の実施について P.56
松山市消防局 壱内 和樹
- O1-6** 低血糖発作症例への20%ブドウ糖溶液と50%ブドウ糖溶液の投与の比較について P.56
熊本市消防局 松本 章寿
- O1-7** 生成AIを活用した救急隊員の想定訓練について P.57
広島市消防局 三好 智大

教育講演1

14:15~15:15

第1会場 (4階 メインホール)

「救急救命処置のさらなる拡大と救急業務」 ～エピペンの対象拡大に関する実証事業と新たな展開～

司会 高橋 宣明 仙台市消防局

EL1 救急救命処置のさらなる拡大と救急業務

P.58

救急救命東京研修所 田邊 晴山

教育講演2

15:30~16:30

第1会場 (4階 メインホール)

「研究の結果から導けるもの」～救急隊の視点から～

司会 後藤健太郎 東京消防庁

EL2 学問ってすげーなあ～～みんなの救急処置見える化する意義とその先にある世界～

P.59

京都大学大学院 西山 知佳

教育講演3

16:45~17:45

第1会場 (4階 メインホール)

「JRCガイドライン2025」～知って得するトピックス～

司会 柴崎 洋明 北九州市消防局

EL3 「JRCガイドライン2025」～知って得するトピックス～

P.60

健和会大手町病院／救急救命九州研修所 畑中 哲生

スキルトレーニング1

10:30~13:30

第2会場 (2階 シビックホール)

「ハイパフォーマンスCPR」～CPRの質を向上させる～

講師 坂本 哲也	公立昭和病院	松山 匠	京都府立医科大学
司会 西山 知佳	京都大学大学院	川江 翔平	井原地区消防組合消防本部
指導者 石見 拓	京都大学大学院	高木 満	射水市消防本部
竹内 一郎	横浜市立大学	高橋 健太	中津川市消防本部
田邊 晴山	救急救命東京研修所	仲松 千尋	名護市消防本部
畠中 哲生	健和会大手町病院／救急救命九州研修所	宮原 宏徳	名護市消防本部
福島 英賢	奈良県立医科大学	山田 浩貴	横手市消防本部
原 貴大	明治国際医療大学		
鈴木 寛宗	高崎市等広域消防局		
高田 康平	白山野々市広域消防本部		
中畑 郁実	横浜市消防局		
長谷 浩	明石市消防局		
森 一郎	大島地区消防組合消防本部		

ST1 「ハイパフォーマンス CPR」～CPRの質を向上させる～

P.63

公立昭和病院 坂本 哲也

スキルトレーニング2

14:30~16:00

第2会場 (2階 シビックホール)

「臨床思考トレーニング」

～生涯教育を身近に シナリオトレーニングのすすめ～

講 師	田口 健藏	救急救命九州研修所	大矢 浩史	救急救命九州研修所
	田代 恵太	救急救命九州研修所		
司 会	立岩 義幸	救急救命九州研修所		
指導者	安武 賢史	救急救命九州研修所	吉村 俊貴	救急救命九州研修所
	網江 達広	救急救命九州研修所	関尾 樹功	救急救命九州研修所
	中野 幹夫	救急救命九州研修所	竹岡 康彦	救急救命九州研修所
	尾松 茂雄	救急救命九州研修所	井上 晶博	救急救命九州研修所

ST2 臨床思考トレーニング ～生涯教育を身近に シナリオトレーニングのすすめ～

P.64

救急救命九州研修所 田口 健藏、大矢 浩史、田代 恵太

スキルセミナー1

16:15~17:45

第2会場 (2階 シビックホール)

「救急脳のつくり方」 ～レッドフラッグを見逃すな～

講 師	望月 礼子	鹿児島大学
指導者	佐藤 朝之	市立札幌病院
	小池 雅人	さいたま市消防局
	白石 弘幸	さいたま市消防局
	前田 聰史	神戸市消防局
	三平 学	安房郡市広域町村圏事務組合消防本部

SS1 救急脳のつくり方 ～レッドフラッグを見逃すな～

P.65

鹿児島大学 望月 礼子

パネルディスカッション1

10:30~12:00

第3会場 (3階 A1 会議室)

「大規模災害」 ～課題と取組みを共有する～

座 長	中村 隆司	広島市消防局
アドバイザー	石原 諭	兵庫県災害医療センター
	浦 正輔	佐世保市消防局

PD1-1 令和6年能登半島地震における被災地の救急活動について

P.69

奥能登広域圏事務組合消防本部 小谷 真一

PD1-2 平成29年九州北部豪雨災害における活動と調査

P.69

甘木・朝倉消防本部 戸川 真登

PD1-3 JR福知山線列車脱線事故後の尼崎市消防局としての取り組みについて

P.70

尼崎市消防局 中峰 敏宏

PD1-4 医療資源が限られた地域で発生した大規模災害事案への対応と課題

P.70

熊野市消防本部 谷 直樹

PD1-5 令和2年7月豪雨から教訓 ～犠牲者ゼロを目指して～

P.71

人吉下球磨消防組合消防本部 山村 一臣

パネルディスカッション2

12:45～14:15

第3会場（3階A1会議室）

「救急活動とDX」～救急活動の効率化、円滑化～

座長 高橋 和希 名古屋市消防局
アドバイザー 溝端 康光 大阪公立大学大学院
中東 謙 下関市消防局

PD2-1 ～「患者情報管理システム」を導入して～

P.72

北九州市消防局 三嶋 宏和

PD2-2 札幌市におけるマイナンバーカードを活用した救急業務の現状と課題

P.72

札幌市消防局 渡邊 佳祐

PD2-3 川崎市における救急情報共有のデジタル化に向けた取り組み

P.73

川崎市消防局 白井 泰延

PD2-4 山間地域における病院前脳卒中病型予測ツールの有用性と課題

P.73

阿蘇広域行政事務組合消防本部 山内 直樹

PD2-5 東京消防庁のDXへの取組について

P.74

東京消防庁 遠藤 太

パネルディスカッション3

14:30～16:00

第3会場（3階A1会議室）

「ライフステージに寄り添う現場改革」～働きやすい職場を目指して～

座長 森田 猛 京都市消防局
アドバイザー 織田 順 大阪大学医学部附属病院
水畠 博之 姫路市消防局

PD3-1 再任用職員で編成された救急隊の運用

P.75

高知市消防局 下村 史弥

PD3-2 しなやかな働き方を目指して

P.75

高崎市等広域消防局 中嶋さなえ

PD3-3 徳島中央広域連合消防本部における365日運用の日勤救急隊について

P.76

徳島中央広域連合消防本部 大倉 一真

PD3-4 職員が活躍できる多様な働き方の実現に向けて

P.76

宇都宮市消防局 遠藤 義行

PD3-5 『変化する時代に対応するための袋井消防本部の挑戦』

P.77

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部 松下 智光

パネルディスカッション4

16:15~17:45

第3会場 (3階 A1 会議室)

「マスギャザリング災害」～安全な集いを守るために～

座長 太田 圭彦 静岡市消防局
アドバイザー 田代 尊久 熊本A C L S 協会
中野 邦宏 倉敷市消防局

PD4-1 関係機関と合同での集団救急事故訓練の実施について P.78

久留米広域消防本部 毛利健太郎

PD4-2 東京2025世界陸上における東京消防庁の警戒活動と多数傷病者対応体制の実践的運用 P.78

東京消防庁 周藤 信博

PD4-3 「大阪・関西万博」における大阪市消防局の対応 P.79

大阪市消防局 塩谷 壮史

PD4-4 熊本城マラソンにおける医療救護体制 P.79

熊本市消防局 本田 公司

PD4-5 大規模集客施設における災害時の関係企業との連携・スタッフ教育の課題 P.80

日本救護救急財団 山崎 明香

シンポジウム1

10:30~12:00

第4会場 (3階 A2 会議室)

「DNARを考える」～救急現場における現状と課題～

座長 山内 文健 さいたま市消防局
アドバイザー 伊藤 重彦 病院前救護と健康管理研究会
寺村 一成 総務省消防庁

SY1-1 『人生会議』『施設看取り』支援における熊本市南区の取り組み P.83

ひまわり在宅クリニック 後藤 廉次

SY1-2 長崎市消防局における救急現場でのDNARの現状と課題について P.83

長崎市消防局 渋谷 洋平

SY1-3 小規模消防本部におけるDNARプロトコルの運用開始に伴う現状と地区医師会との連携課題 P.84

南さつま市消防本部 賀樂 元樹

SY1-4 蘇生を望まない傷病者の意思を尊重するために P.84

旭市消防本部 浪川 尚也

SY1-5 「離島医療におけるDNAR対応の実際と今後の展望」 P.85

大島地区消防組合消防本部 西 栄一郎

シンポジウム2

12:45～14:15

第4会場（3階A2会議室）

「救急隊員の世代別教育アプローチ」～学び合い、高め合う新しい教育体制～

座長 黒住 信之 岡山市消防局
アドバイザー 横田順一朗 堺市立病院機構
高橋 伸一 秋田市消防本部

SY2-1 「大阪市消防局における世代別教育～知識と技術を次世代へ～」	P.86
	大阪市消防局 堀田 明裕
SY2-2 当消防本部における経験年数の少ない救命士への教育体制について	P.86
	津山圏域消防組合消防本部 山本 克志
SY2-3 大津市消防局における救急教育支援隊の発足について	P.87
	大津市消防局 中下 真道
SY2-4 救急隊員の世代別教育アプローチ	P.87
	総務省消防庁消防大学校 須藤 友彦
SY2-5 効果的な救急隊員教育への取組～若手職員育成研修の始動から12年の軌跡～	P.88
	豊田市消防本部 榊原 丈

シンポジウム3

14:30～16:00

第4会場（3階A2会議室）

「バイスタンダーに対するサポート」

～地域でのメンタルサポートを含めた応急手当実施者へのサポートについて～

座長 渡部 和也 堺市消防局
アドバイザー 石見 拓 京都大学大学院
千葉 一也 別府市消防本部

SY3-1 救命後の心に寄り添う新たな取り組み「バイスタンダーサポートサイト」	P.89
	AQUAkids safety project すがわらえみ
SY3-2 一般市民救助者における救助後の心理的負担と支援の必要性	P.89
	日本AED財団 長野 庄貴
SY3-3 バイスタンダーに対するアンケート調査について—消防本部のサポート体制を考察する—	P.90
	小牧市消防本部 田島 典夫
SY3-4 救急感謝カードの現状とドクターカースタッフが行ったメンタルサポートについて	P.90
	沖縄市消防本部 松田 温
SY3-5 その一歩にありがとうを届けたい～名張市のバイスタンダーケア～	P.91
	名張市消防本部 裏南 元貴

シンポジウム4

16:15~17:45

第4会場（3階A2会議室）

「救急隊の働き方改革」～救急隊員の労務管理について～

座長 森下 大志 福岡市消防局
アドバイザー 田中 秀治 国士館大学大学院
安富 涼一 佐賀広域消防局

一般発表2

10:30~12:00

第5会場（3階A3会議室）

「救急活動（內因性）」

座長 松枝 正樹 奈良県広域消防組合消防本部
助言者 横山 徹 救急救命東京研修所
矢野 裕明 佐伯市消防本部

- | | | |
|------|--|-------|
| 02-1 | 若年女性に発症した心筋炎による心原性ショックの一例 | P.97 |
| | 須賀川地方広域消防組合消防本部 渡邊 智 | |
| 02-2 | スマートウォッチの衝撃通報により覚知した重症脳卒中症例 | P.97 |
| | 川崎市消防局 松長 宏次 | |
| 02-3 | 嘔気を主訴に救急要請された傷病者が大動脈解離だった症例 | P.98 |
| | 高崎市等広域消防局 大野 友也 | |
| 02-4 | 「DC6回・薬剤投与3回・CPA時間40分」からの完全社会復帰症例 | P.98 |
| | 北はりま消防組合消防本部 山本 佑氣 | |
| 02-5 | 12誘導心電図測定及び伝送により、早期搬送及び医療機関での早期対応に繋がった症例 | P.99 |
| | 茨木市消防本部 若松 勇樹 | |
| 02-6 | FineVFだ！！…あれ、、？なんで電気ショック出来ないの！？ | P.99 |
| | 草加八潮消防組合消防本部 茅田 哲弥 | |
| 02-7 | 地域ささえあいAED協定、Live119の連携により社会復帰に至った心肺停止症例 | P.100 |
| | 西入間広域消防組合消防本部 松本 健太 | |

一般発表7

12:45~14:15

第5会場 (3階 A3会議室)

「救急活動（特異事案①）」

座長 宮副 樹巳 県央地域広域市町村圏組合消防本部
助言者 太田黒崇伸 長崎大学病院
吉川 剛投 田川地区消防本部

- O7-1** CPRIC（低体温からのCPA移行）を経験した症例について P.101
常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 鈴木慶太郎
- O7-2** サーフィン後に対麻痺を認めたサーファーズミエロパチー症例について P.101
川崎市消防局 佐藤 亮
- O7-3** 自ら栽培したトリカブトを摂取し心肺停止となるも、社会復帰した症例から得られた知見 P.102
浜松市消防局 浅野 亜美
- O7-4** ソーシャルハイリスクを抱える傷病者に他機関と連携して対応した症例 P.102
東大阪市消防局 日好 健登
- O7-5** 山岳地帯でビバーグを経験した事案について P.103
大阪南消防局 小山 桂吾
- O7-6** LVAD装着者がショック状態？？処置・判断に苦慮した事例について P.103
岡山市消防局 有岡 駿
- O7-7** 他害の恐れがある傷病者の搬送困難事例を経験して P.104
江津邑智消防組合消防本部 清角 勝久

一般発表12

14:30~16:00

第5会場 (3階 A3会議室)

「救急DX①」

座長 竹内 元 奈良市消防局
助言者 八木 正晴 昭和医科大学
坂本 剛 千葉市消防局

- O12-1** ゼロコストで運用する医薬品等在庫管理システム P.105
石巻地区広域行政事務組合消防本部 福島 克
- O12-2** 救急医療情報システム導入前後の変化と救急事後検証方法のデータ化 P.105
日立市消防本部 松浦 武琉
- O12-3** デジタル修了証の導入について P.106
西宮市消防局 中野 慎
- O12-4** 定型業務自動化ツールを活用した国際疾病分類（ICD10）自動入力の取り組み P.106
四日市市消防本部 羽場 好希
- O12-5** 救急DXの成果と将来展望～HEARTS運用、マイナ救急、そして次世代システムへの挑戦～ P.107
姫路市消防局 橋本 泰行

O12-6 広島県救急搬送支援システム実証実験に参画して～迅速正確な治療開始を目指すために～ P.107
広島市消防局 細川 慧

O12-7 揺れのない搬送を目指して～スマホアプリを使った搬送時の揺れ低減に向けた試み～ P.108
栄町消防本部 石原 和典

一般発表17

16:15～17:45

第5会場（3階A3会議室）

「救急需要対策」

座長 谷津 直樹 横浜市消防局
助言者 野田英一郎 九州医療センター
渡辺 隆一 名古屋市消防局

O17-1 日勤救急隊による「機動的運用」について P.109
函館市消防本部 築田 晴之

O17-2 統計データが救急搬送を変える！EBPMによる消防と医療機関の協力体制の構築 P.109
仙台市消防局 小椋 雅隆

O17-3 救急活動時間の延伸要因と医療機関との連携に関する考察 P.110
蓮田市消防本部 茅野 俊幸

O17-4 救急需要対策に特化した日勤救急隊の運用における課題について P.110
川崎市消防局 喜熨斗千織

O17-5 転院搬送ガイドライン改定と検証体制構築による救急資源の最適化を目指して P.111
神戸市消防局 藤本 竜介

O17-6 日勤救急隊の運用とその効果～通常型×兼務型という二刀流～ P.111
北九州市消防局 松下 雅史

O17-7 多様な勤務ニーズに応える日勤救急隊の取り組み P.112
熊本市消防局 楠田 彰布

一般発表3

10:30～12:00

第6会場（3階A4会議室）

「指導救命士」

座長 重松 伸治 大阪市消防局
助言者 宮川 幸子 琉球大学大学院
米光 竜哉 佐賀広域消防局

O3-1 マルチタスク時代の救急救命士～指導救命士による救急小隊長に着目した新たな研修～ P.115
奈良県広域消防組合消防本部 西村 基史

O3-2 指導救命士の指導効果と課題について P.115
盛岡地区広域消防組合消防本部 川原 康二

O3-3 指導救命士に対する病院研修～指導者としての質の維持向上～ P.116
横浜市消防局 今村 圭佑

O3-4	さいたま市消防局における指導救命士活用の転換点～救急WS導入を通じて～	P.116
	さいたま市消防局 小松 裕弥	
O3-5	県内指導救命士等から全救急隊員への新生児蘇生教育～意識変換と継続教育の必要性～	P.117
	名古屋市消防局 岡山 元紀	
O3-6	指導救命士派遣研修について	P.117
	高槻市消防本部 植西 祐希	
O3-7	指導救命士部会によるインシデント環境への取り組み～重大事故ゼロを目指して～	P.118
	奈良県広域消防組合消防本部 高木 崇	

一般発表8

12:45～14:15

第6会場（3階A4会議室）

「多数傷病者」

座長 園田 操 霧島市消防局
 助言者 阪本 太吾 日本医科大学多摩永山病院
 平木 誠 筑紫野太宰府消防組合消防本部

O8-1	「4枚複写式」トリアージタグが有効活用された多数傷病者事案について	P.119
	横須賀市消防局 木本 健太	
O8-2	小児複数傷病者事案における搬送戦略～MCLSの視点から検証～	P.119
	浜松市消防局 比嘉 辰徳	
O8-3	富士山有料道路富士スバルラインで発生した外国人多数傷病者交通事故事案を経験して	P.120
	富士五湖広域事務組合富士五湖消防本部 宮下 賀夫	
O8-4	多数傷病者対応における運用要領の多数性と選択的活用	P.120
	駿東伊豆消防本部 土屋 貴裕	
O8-5	集団災害への更なる対応能力の向上に向けた訓練手法について	P.121
	京都市消防局 幸元 宏樹	
O8-6	小学校での集団災害～児童50人を救急搬送～	P.121
	八尾市消防本部 堀内 健伍	
O8-7	多数傷病者対応のための段階的な訓練と今後の課題について	P.122
	松江市消防本部 三浦 雄大	

一般発表13

14:30～16:00

第6会場（3階A4会議室）

「救急隊員教育①」

座長 尾村 保憲 広島市消防局
 助言者 小原日奈子 産業医科大学
 太田 直伸 救急救命東京研修所

O13-1	フィードバック器具を用いたCPRトレーニング結果からみる成果と今後の課題について	P.123
	新潟市消防局 笠原 充弘	

O13-2 CPA訓練映像のCCF可視化について	P.123
小松市消防本部 豊田 健吾	
O13-3 High performance CPRコース受講前後での、CPRの質に関するフィードバック方法の変化	P.124
白山野々市広域消防本部 高田 康平	
O13-4 航空隊救命士の運用実績と安全を支える教育カリキュラム	P.124
福岡市消防局 桃井 将光	
O13-5 『学ぶ』ことは『真似る』ことから！をモットーにした救急隊員教育について	P.125
京築広域圏消防本部 奥家 康平	
O13-6 用手と自動心マッサージ器による胸骨圧迫の質的比較～継続的訓練による変化の検討～	P.125
堺市消防局 上田 聰	
O13-7 当消防本部における救急隊員教育の効果からみる救急業務の取り組みについて	P.126
天草広域連合消防本部 永田幸四郎	

一般発表18

16:15～17:45

第6会場（3階A4会議室）

「救急活動（特異事案②）」

座長 前田慶一郎 有明広域行政事務組合消防本部
助言者 林 敏雅 愛仁会千船病院
村上 繼人 唐津市消防本部

O18-1 無痛性かつ脳卒中症状を呈した急性大動脈解離の希少な症例	P.127
東京消防庁 小暮 拓也	
O18-2 適切な病院選定が奏功した孤立性上腸間膜動脈解離の一例	P.127
横須賀市消防局 佐藤 等也	
O18-3 非典型的症状を呈す重大疾患を見抜いた一例 -継続観察と判断修正による搬送先選定-	P.128
加古川市消防本部 松本 隼輔	
O18-4 大量腹水により腹壁破裂を起こした内因性腸管脱出の一例	P.128
北はりま消防組合消防本部 田中 淳	
O18-5 インフルエンザ異常行動が生んだ「墜落外傷」～虐待と鑑別を要した事案～	P.129
大牟田市消防本部 菊池 恭嘉	
O18-6 四肢脱力を主訴とした事案に対する、想定疾患に苦慮した一例	P.129
春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 藤村 慎也	
O18-7 非定型的な徴候を呈した心筋梗塞事案について	P.130
熊本市消防局 園田 隆生	

一般発表4

10:30~12:00

第7会場 (3階C会議室)

「新生児・小児」

座長 佐野 浩史 福山地区消防組合消防局
助言者 吉原 秀明 鹿児島市立病院
田中 彰 枕崎市消防本部

- O4-1** 埼玉西部消防局管内における小児けいれんの現状と課題 P.133
埼玉西部消防局 中島 美絵
- O4-2** 新生児蘇生プロトコールに基づいた救急隊員教育の効果について P.133
千葉市消防局 座間 洋明
- O4-3** 症候から見る小児救急搬送の特徴と今後的小児教育の展望 P.134
川崎市消防局 笹岡 賢一
- O4-4** 小児周産期領域における研修の事前事後調査から見えた研修効果と課題 P.134
相模原市消防局 締引 翔
- O4-5** 小児搬送に関する分析に伴う病院群輪番制の見直し P.135
神戸市健康局(消防局から出向) 川村 翔太
- O4-6** 完全未受診妊婦・新生児仮死症例の活動から見えた今後の取り組み P.135
奈良県広域消防組合消防本部 川端 寿学
- O4-7** 小児以下CPA特化型【活動カード】の作成について P.136
大分市消防局 橋本 達也

一般発表9

12:45~14:15

第7会場 (3階C会議室)

「関係機関との連携(医療)」

座長 松元 大輔 都城市消防局
助言者 奥本 克己 熊本赤十字病院
野口 宗大 上益城消防組合消防本部

- O9-1** 三重大学病院HWSが取り組む救急医療連携の新たなかたち P.137
三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター(名張市消防本部から出向) 橋本 英明
- O9-2** 受入れ実施基準の再周知による効果と課題 ~重症傷病者の早期医療介入を目指して~ P.137
柏崎市消防本部 中西 達也
- O9-3** 医師同乗による早期医療介入が病院前外傷救護における現場滞在時間に与える影響の検討 P.138
秦野市消防本部 佐藤 志成
- O9-4** 公立病院との連携による地域医療の質向上の体制構築とその効果について P.138
豊中市消防局 西村 達也
- O9-5** 新人救命士教育における資格取得別経路の課題と改善策の検討 P.139
奈良県広域消防組合消防本部 根本裕太加

- O9-6 救急医の常駐が救急救命士の特定行為実施率に与える影響** P.139
西諸広域行政事務組合消防本部 川畠 樹也
- O9-7 多職種連携で地域のお産を守る 救急救命士と助産師による研修と妊婦情報事前登録制度** P.140
名張市消防本部 大山 優

一般発表 14

14:30~16:00

第7会場 (3階C会議室)

「関係機関との連携 (MC)」

座長 鈴木 和隆 長崎市消防局
助言者 風巻 拓 済生会横浜市東部病院
金城 芳樹 東部消防組合消防本部

- O14-1 DNARプロトコールの課題と展望 ~手書きの意思表示と医師の決断を巡る事後検証~** P.141
神戸市消防局 弓削 直人
- O14-2 秋田市における血栓回収療法の現状 LVOスケール運用の前後を振り返って** P.141
秋田市消防本部 荒川 仙一
- O14-3 重症外傷事案の現場滞在時間短縮に向けた取り組みの現状について** P.142
佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 高野 渉
- O14-4 救急救命士への新たなシミュレーション教育の提案と今後の課題** P.142
草加八潮消防局 上田 巧
- O14-5 当MC地域における指令管制業務検討WGの取り組み** P.143
池田市消防本部 堀江 英晴
- O14-6 ELVO Screenを使用した脳卒中症例における出雲地区MCの取組みについて** P.143
出雲市消防本部 黒崎 剛広
- O14-7 ECPR対応を目的とした除細動プロトコールの運用とその効果** P.144
神戸市消防局 松岡 太郎

一般発表 19

16:15~17:45

第7会場 (3階C会議室)

「救急資器材①」

座長 川上 浩也 倉敷市消防局
助言者 安田 康晴 広島国際大学
大島 博文 水俣芦北広域行政事務組合消防本部

- O19-1 気道閉塞症例におけるMcGRATH™MACを使用した異物除去の有用性について** P.145
秋田市消防本部 黒木 正剛
- O19-2 体温計の柄が自在に曲がるフレキシブルハンドルタイプの考案について** P.145
相模原市消防局 大田 貴広
- O19-3 胸骨圧迫時における血液循環イメージ用訓練資機材の開発について** P.146
尼崎市消防局 藤田 翔

O19-4 車内分娩対応時の処置スペースの拡張と活動効率化の検証	P.146
岡山市消防局 安達 将哉	
O19-5 CPA症例の階段およびEV搬送におけるスクープストレッチャーと布担架の比較検討	P.147
五島市消防本部 入江 甚成	
O19-6 トリアージタグの改良に関する検討について	P.147
熊本市消防局 木村 裕一	
O19-7 気管挿管後における新たな挿管位置確認方法についての考案	P.148
相模原市消防局 落合 龍太	

一般発表5

10:30~12:00

第8会場 (3階D会議室)

「応急手当普及啓発①」

座長 権藤 明夫 久留米広域消防本部
助言者 冬田 修平 熊本脳神経外科病院
伊藤 篤 出雲市消防本部

O5-1 応急手当普及員に認定した市内小中学校の教員による応急手当普及啓発の効果と課題	P.151
小牧市消防本部 伊藤 正幸	
O5-2 教職員を対象とした机上訓練の導入	P.151
知多中部広域事務組合消防本部 寺下 延司	
O5-3 松阪市教職員応急手当普及員育成事業の実績評価及び事業拡大に向けた取り組み	P.152
松阪地区広域消防組合消防本部 高山 哲	
O5-4 10人による救命の連鎖で社会復帰 ~救命率向上を目指す鈴鹿市の応急手当啓発~	P.152
鈴鹿市消防本部 長嶋 真吾	
O5-5 乳幼児に対応できるバイスタンダーの増員に向けて ~子どもたちを守れる町へ~	P.153
新居浜市消防本部 藤井 大輝	
O5-6 予防救急の再構築は、保育の現場から始まる – ハイブリッド講習の挑戦	P.153
宗像地区消防本部 榎本 雄一	
O5-7 応急手当普及啓発活動	P.154
人吉下球磨消防組合消防本部 中村 龍雅	

一般発表10

12:45~14:15

第8会場 (3階D会議室)

「通信指令」

座長 吉村幸志郎 宇部・山陽小野田消防局
助言者 村西謙太郎 福岡大学病院
西 大輔 上球磨消防組合消防本部

O10-1 複数傷病者発生の救助事案 指令センター視点で消防Live映像通信システムを活用する	P.155
川崎市消防局 川本 仁	

O10-2 尾張中北消防指令センターにおける口頭指導の事後検証体制と通報訓練の取り組み	P.155
尾張中北消防指令センター 宮崎 彰	
O10-3 指標から考察する、堺市版口頭指導の効果について	P.156
堺市消防局 古澤 祐一	
O10-4 CPA事案におけるAED到着の実態とAED未到着要因の分析と改善策	P.156
彦根市消防本部 吉田 誠	
O10-5 DXで現場をミエル化 ~指令センターから命を救う~	P.157
松山市消防局 笠原 康弘	
O10-6 救急要請時のNo Siren Orderに係る調査研究 ~重症度分析を踏まえた普及啓発の検討~	P.157
泉州南消防組合泉州南広域消防本部 後藤裕二郎	
O10-7 指令から始まる命の支援“陣痛・墜落分娩対応シート”の開発と効果検証	P.158
熊本市消防局 内田 貴則	

一般発表15

14:30～16:00

第8会場（3階D会議室）

「災害対応」

座長 前方 佑哉	大分市消防局
助言者 小山 敬	佐賀県医療センター好生館
鎌田 憲治	徳島市消防局

O15-1 自然災害により発生した孤立集落での多数傷病者対応訓練について	P.159
群馬県防災航空センター 井川 純	
O15-2 小規模消防本部の活動隊に求められるスキル ~複数傷病者発生事案の経験をもとに~	P.159
宮津与謝消防組合消防本部 山下 順也	
O15-3 複数傷病者対応におけるCSCATTの重要性 (硫化水素漏洩による複数傷病者症例)	P.160
堺市消防局 上甲 誠	
O15-4 令和6年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練から見えた救急特別編成部隊について	P.160
鈴鹿市消防本部 中川 弘一	
O15-5 30秒のファーストトリアージ	P.161
真庭市消防本部 安藤 彰浩	
O15-6 消防職員及び家族への原子力災害派遣活動に関する意識調査	P.161
佐世保市消防局 岩本 玄樹	
O15-7 災害関連死を防ぐために ~車中泊避難の課題と消防に出来る支援~	P.162
熊本市消防局 世良 祐樹	

一般発表20

16:15~17:45

第8会場(3階D会議室)

「各消防本部の取組み①」

座長 佐々木博隆 秋田市消防本部
助言者 田尻 浩昭 帝京大学
宮本 和臣 熊本市消防局

- O20-1** 高齢傷病者及び高齢付き添い者に対する踏み台使用の考案 P.163
富岡甘楽広域消防本部 黒澤 稔弘
- O20-2** 小規模消防本部の惨事ストレス体制の構築と運用 P.163
飛騨市消防本部 棚田茂太朗
- O20-3** 119番通報時におけるトリアージプロトコールの活用 P.164
尾三消防本部 伊藤 貴司
- O20-4** 特別高度救助隊の救助隊救命士創設と今後について P.164
京都市消防局 堀池 翔太
- O20-5** 着用型自動除細動器の認知向上について(適切な対応と搬送先の選定) P.165
加古川市消防本部 木戸 良明
- O20-6** 事後検証刷新 ネガティブからの脱却 そのアプローチと有効性 P.165
岡崎市消防本部 大河原慎吾
- O20-7** Pit crew-CPRのススメ ~High performance CPR実践のために~ P.166
奈良県広域消防組合消防本部 中山 雅浩

一般発表6

10:30~12:00

第9会場(3階E会議室)

「調査・研究(救急活動①)」

座長 岡 一博 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部
助言者 鍋田 雅和 久留米大学病院
石井 智也 天草広域連合消防本部

- O6-1** 院外心停止における自己心拍再開場所と神経学的予後の関係性 P.169
宇都宮市消防局 渡邊 昌彦
- O6-2** 自動心肺蘇生器導入に伴う救急活動の変化と課題 P.169
福井市消防局 今岡 大輔
- O6-3** プレアライバルコールの教育体制について P.170
富山県東部消防組合消防本部 桐澤 聰邦
- O6-4** 不搬送の指針策定のための取り組み P.170
大阪市消防局 新子雄一郎
- O6-5** 外傷傷病者の医療機関選定について ~上り搬送症例検証結果からの考察~ P.171
堺市消防局 栗野 文那

O6-6 自動車内の騒音量と救急車のサイレン音量を比較した結果から救急隊員が注意すべきこと P.171
北九州市消防局 若松 洋平

O6-7 現場活動時間の変化について P.172
鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部 久保田勇治

一般発表 11

12:45~14:15

第9会場 (3階 E会議室)

「救急ワークステーション」

座長 堀口 大輔 鹿児島市消防局
助言者 前原 潤一 済生会熊本病院
中西 祐太 境市消防局

O11-1 派遣型救急ワークステーションにおける取組み ~労務管理の視点を用いての運用~ P.173
白河地方広域市町村圏消防本部 鈴木 智彬

O11-2 救急ワークステーションの発展形 ~現場力と指導力を両立する教育モデルの構築~ P.173
さいたま市消防局 吉田菜々美

O11-3 救急救命士の疑問や課題を可視化し情報共有する取り組み ~こちらワークステーション~ P.174
神戸市消防局 増田 隆志

O11-4 松山市救急ワークステーションの10年の軌跡と展望 P.174
松山市消防局 芝元 寿幸

O11-5 「医師派遣型」救急ワークステーションの取り組みについて P.175
苅田町消防本部 塚崎 智晴

O11-6 市立病院と連携した派遣型救急ワークステーションの実践と効果 P.175
日南市消防本部 磯崎 圭

O11-7 研修医との派遣型ワークステーション実習について P.176
人吉下球磨消防組合消防本部 森田 好起

一般発表 16

14:30~16:00

第9会場 (3階 E会議室)

「調査・研究 (その他)」

座長 濱砂憲治郎 宮崎市消防局
助言者 井上 征雄 北九州市立八幡病院
竹村 宜隆 宇城広域連合消防本部

O16-1 出動要件拡大によるPA連携効果の検証 P.177
小松市消防本部 中野 千里

O16-2 救急頻回利用者対応についての考察 ~救急隊への依存解消と対応の標準化に向けて~ P.177
横浜市消防局 植村 拓司

O16-3 プレホスピタルにおける12誘導心電図伝送による有効性の検討 P.178
尾三消防本部 鷹見 直紀

O16-4 热中症に合併して下肢にⅡ度熱傷がみられた症例の検討 ~着衣の色調と熱傷の関係~	P.178
伊賀市消防本部 小菅 綾太	
O16-5 病院前における環境及び身体所見と熱中症の予測について	P.179
日高広域消防事務組合消防本部 岡崎 大地	
O16-6 救急活動を無駄なく安全に提供するために ~現場活動の効率化への取り組み~	P.179
名古屋市消防局 宮本 貴斗	
O16-7 気象条件が市民マラソンに及ぼす影響について ~熊本城マラソン過去12回を振り返る~	P.180
熊本市消防局 荒木 龍起	

一般発表21

16:15~17:45

第9会場 (3階E会議室)

「応急手当普及啓発②」

座長	隈部 尚樹	菊池広域連合消防本部
助言者	緒方 美佳	熊本大学大学院
	安西 一正	高松市消防局

O21-1 応急手当指導員の再教育研修で築く新たな普及啓発	P.181
弘前地区消防事務組合消防本部 今井 駿	
O21-2 ~教室からつなぐ命のバトン~ 仙台市消防局における救命入門コースの取り組み	P.181
仙台市消防局 大友 圭介	
O21-3 バイスタンダーへのメンタルヘルスケアについて	P.182
千葉市消防局 地引 悟	
O21-4 現場映像からCPA判断と一般市民の一次救命処置の課題について考える	P.182
高山市消防本部 奈須 一	
O21-5 聴覚障がい者のコミュニケーションツール「バイスタンダーカード」について	P.183
和泉市消防本部 竹田 侑哉	
O21-6 バイスタンダー心のケア ~症例から感じたこと~	P.183
大洲地区広域消防事務組合消防本部 別宮 成	
O21-7 教育委員会と連携した小中学校への応急手当オンライン授業の導入	P.184
うるま市消防本部 島袋 勝士	

市民公開講座1

10:30~12:00

第10会場（1階 展示ホールA①）

「くまSKIP」～小児事故予防救急 小さな命を守る～

講 師	原富 由香	熊本赤十字病院
司 会	中島 優太	熊本市消防局
指導者	高宗 和史	熊本市消防局
	鎌田 健	熊本市消防局
	余湖 直紀	熊本赤十字病院
	渡邊 徹	熊本赤十字病院
	梅林 美月	熊本赤十字病院

PL1 くまSKIP ～小児事故予防救急 小さな命を守る～

P.187

熊本赤十字病院 原富 由香